



成田祇園祭 7月6日~8日



受け継がれる夏の光景

成田の夏の風物詩「成田祇園祭」が成田山新勝寺や表参道を中心に開催されました。初日はあいにくの雨となりましたが、新勝寺大本堂前で盛大に鏡開きが行われ祇園祭が開幕。2・3日目は天気が回復し、夏を感じさせる強い日差しの下、JR成田駅前での総踊りや、仲町の坂を勢いよく駆け上がる総引きが行われました。今年は3日間を通して49万人の見物客が訪れ、表参道周辺は朝から晩まで盛り上がりっぱなしでした。



① JR成田駅前での総踊り ② 山車が仲町の坂を駆け上がる ③ 祇園祭を楽しむ見物客 ④ 思い切り引っ張れ

ねんきんサテライト成田 7月2日



手続きの利便性が向上

年金事務所の市内への開設を求める要望を受け、スカイタウン成田に「ねんきんサテライト成田」が開設され、開所式が行われました。式典では開所を記念してテープカットが行われた後、事務所内の設備などが関係者に公開されました。アクセスしやすい駅前に年金事務所の分室が開設されたことで、手続きや相談面での利便性の向上が期待されます。



開所を記念してテープカット

サンブルーノ市中学生友好訪問団 7月2日~9日



貴重な体験をした8日間

姉妹都市のアメリカ・サンブルーノ市から、10人の中学生と3人の随行員で構成された友好訪問団が本市を訪れました。中学生は消防署や図書館、大慈恩寺などを見学。また西中学校では給食を食べながら生徒と交流しました。ほかにも、成田祇園祭の山車曳きに参加したり、折り鶴作りに挑戦したりと、6泊のホームステイとともにさまざまな体験をしました。



鶴の折り方を教わる

AR

写真だけでは伝えきれない魅力を動画で!!

「まちのできごと」に掲載されている写真から、AR(拡張現実)を利用してスマートフォンやタブレットなどで、動画を見ることができます。右にある二次元バーコードからCOCOAR2アプリをダウンロード。アプリを起動してARマークが付いたコーナー全体にかざすと動画が見られます。

COCOAR2



アプリアイコン



iOS・Android対応

埴生神社例祭 7月15日



疫病を追い払う勇ましさ

郷部地区にある埴生神社で、750年以上の歴史がある祭礼が行われました。この神事は、夏になるとはやっていた疫病を追い払うために行われてきたもの。偶数年である今年は神輿が出され、町内や氏子の安全を祈願して地域を回りました。また、神社の境内では「朝顔ほおづき市」が2日間に渡って行われ、彩り鮮やかな朝顔とホオズキが販売されました。



①力強い掛け声とともに②露払いの天狗を先頭に練り歩く③丹精込めて育てられたホオズキ

交通安全教室 7月11日

ルールを守って歩こう

子どもたちに交通ルールを学んでもらおうと「交通安全教室」が小御門保育園で行われました。4~5歳を対象に信号の見方や横断歩道の渡り方、歩道がない道の歩き方について、講師がイラストを使って説明。子どもたちは講師の話聞いた後、左右を確認し右手を挙げて横断歩道を渡る動作などを繰り返し練習しました。その後は2~3歳の園児も加わり、歩行時に気を付けること、危ないことなどを映像を見て学びました。



右手を挙げて横断歩道を渡る練習

市内施設見学会 7月12日

魅力的なスポットを巡る

市内にあるさまざまな施設を知ってもらい、市の魅力を再確認してもらおうと「市内施設見学会」が行われました。今回訪れたのは正次郎鉄羽物工芸、さくらの山、日本自動車大学校(NATS)。東京ドーム3個分の広大な敷地を持つNATSでは、学生たちが作った珍しいカスタムカーや、敷地内にあるサーキットなどを見学しました。職員のくわしい解説に参加者は興味津々のようでした。



カスタムカーの解説に驚きの声